

# Blue Velvet

プリリアントな悪夢 まさにセンセーション……



デビッド・リンチ監督作品

## ブルーベルベット

カイル・マクラクラン◆イザベラ・ロッセリーニ◆テニス・ホッパー

全米映画批評家協会賞■最優秀作品賞・最優秀監督賞・最優秀助演男優賞・最優秀撮影賞

ロサンゼルス映画批評家協会賞■最優秀監督賞・最優秀助演男優賞

シトヘス国際ファンタジー映画祭■最優秀作品賞・最優秀撮影賞

モントリオール国際映画祭■最優秀主演男優賞

アボリアツ国際ファンタスティック映画祭■グランプリ

ブルーベルベット

# Blue Velvet

配給 松竹富士クラシック・松竹富士株式会社

## 耽美と頽廃の 世紀末的世界

赤いバラ、白いフェンス、青い空。絵葉書のようなアメリカの典型的な田舎町ランバートン。そんなのどかな町で、芝生に水をやっていた男が突然発作に襲われて倒れ、ホースからほとばしる水を犬が飲む。家では妻がTVの犯罪ドラマに夢中で、外の出来事に気付いていない。

デビッド・リンチ監督・脚本の「ブルーベルベット」は、テクニカラーの明るい画面から一転して、異様で奇妙な世界へ移っていく。カメラが草の間にに入っていき、地面で虫たちがすさまじい生存競争を繰りひろげている様を写し出す。大学生の息子ジェフリーは病院に父を見舞うが、父は身体中に医療器具をつけられしゃべることも出来ない。その帰り道、人間の耳を見つけ、それを警察に届けたことから、ジェフリーは犯罪と暴力、セックスとSMの世界へと足を踏み入れる。

ロマンチックな夢を抱く高校生サンディ、憂いを帯びたキャバレーの歌手ドロシー、彼女をサディスティックに責めたてるフランク。ジェフリーは彼らとかかわりを持つことで人生が変わってゆく。耳の持ち主はどうなったのか?という謎からストーリーは展開するが、ハリウッド流のスリラーの公式とは全く違った、リンチらしいダークで異常なサイキック・スリラーに仕上っている。



## 鬼才デビッド・リンチの 最高傑作!!

全米映画批評家協会・最優秀作品賞、シテス国際ファンタジー映画祭・最優秀作品賞、アボリット国際ファンタスティック映画祭・グランプリなど世界のメイン・タイトルを獲得しているのがこの「ブルー・ベルベット」。興行的にも、本国アメリカで公開されるや、アート・フィルムとしては画期的な800万ドルに達する大ヒットを記録している。これは世界中が、デビッド・リンチを人気、実力ともに、ナンバー・ワン監督として、認めたことに他ならない。

画家を志し、今でも抽象画を描いているリンチは、ビジュアルを重視した映画作りを行なっている。デビュー作「イレイザーヘッド」でも見られたストレンジ・ビーピルへの執着、主人公の社会に対する冷徹な眼、不思議な印象を抱かせざるにはおかない構図がより洗練された形で表現されている。前作の「砂の惑星」が長大なベストセラーの映画化で、ダイジェスト的な構成をとらざるを得なかったことを反省し、今回は自分のアイデアに基づいた特異な世界を構築。観客の深層心理に激しく働きかける作品となっている。

### スタッフ

監督・脚本……………デビッド・リンチ  
製作総指揮……………リチャード・ロス  
撮影……………フレデリック・エルムス  
プロダクション・デザイナー……………パトリシア・ノリス  
編集……………ドウェイン・ドウナム  
サウンド・デザイン……………アラン・スプレット  
音楽……………アンジェロ・バダラメンティ  
(サントラ盤/ピクターレコード)  
特殊メーク・アップ……………ティーン・ジョーンズ

### キャスト

カイル・マクラクラン……………ジェフリー  
イザベラ・ロッセリーニ……………ドロシー  
テニス・ホッパー……………フランク  
ローラ・ダーン……………サンディ  
ティーン・ストックウェル……………ベン  
ジョージ・ティッカーソン……………ウィリアムズ刑事  
プラット・ドゥリフ……………レイモンド  
ジャック・ナンス……………ポール

## 官能と倒錯の幻想的世界を 彩る“リンチ”ファミリー

製作総指揮のリチャード・ロスは、「追憶」「ジュリア」などの名作を手掛け、リンチとは十年来の友人である。撮影のフレデリック・エルムスは、「イレイザーヘッド」を撮り、「砂の惑星」では第二班の撮影を担当。音楽はアンジェロ・バダラメンティが作曲し、リンチが作詞に参加。サウンド・デザイナーのアラン・スプレットは、「少年の黒い馬」でアカデミー特別音響効果賞に輝き、「85年度のアカデミー最優秀ドキュメンタリー賞を得ている。リンチの作品にはデビュー作から参加し、本作でも不思議な音を付けて、ムードを高めている。衣裳は「エレファント・マン」と同じパトリシア・ノリスが担当。彼女は「エレファント・マン」「天国の日々」「ピクター/ピクトリア」「2010年」でアカデミー賞に4回ノミネートされている。

出演は、「砂の惑星」で鮮烈な主演デビューを飾ったカイル・マクラクラン。邪悪な存在フランクに「地獄の默示録」の性格俳優デニス・ホッパー、ミステリアスな美人ドロシーに「ホワイトナイト/白夜」のイザベラ・ロッセリーニ。その他「マスク」のローラ・ダーン、「砂の惑星」のティーン・ストックウェルとブラッド・ドゥリフ、「イレイザーヘッド」で主役のヘンリーを演じ、「砂の惑星」にも出でたジャック・ナンスなど。いずれもリンチの映画ではおなじみのスタッフ、キャストが結集して、官能と倒錯の世界を見せてくれる。(1986年/アメリカ映画/カラー作品/ドルビー/上映時間2時間1分)



## 次回《陶酔》のロードショー! ◆特別鑑賞券1200円(当日・一般1500円/学生1300円の処)絶賛発売中

当劇場窓口及び松竹系劇場、都内主要プレイガイド、チケットぴあ他にてお求め下さい。

スペイン坂・ライズBF  
シネマライズ・渋谷 (464)  
0052

日・祝 9:30 平日 11:50 2:10 4:30 6:50

●レイトショー/毎土曜PM9:10より実施